

学科の3つのポリシー

看護学科（昼間部 3 年制）

ディプロマポリシー

看護学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、専門的知識と技術、倫理観を基盤に、社会において幅広く貢献できる看護専門職を育成するため、以下の教育的目的を掲げている。

1. 課題解決に向けて、主体的に考えて行動する能力を有している。
2. 人々の生活や価値観を理解し、豊かな人間関係を構築する力を有している。
3. 生命の尊厳と人格の尊重を基盤とした豊かな人間性と倫理観を有している。
4. 看護の対象である人間を総合的に理解し、科学的根拠に基づき臨床判断を用いて、看護が実践できる基礎的能力を有している。
5. 多職種と連携・協働し、変化する社会情勢に応じて保健・医療・福祉チームの一員として地域社会に貢献する力を有している。
6. 異文化に対する理解を深め国際的な視野に立ち、幅広く情報を得て柔軟に対応する力を有している。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的達成のため、充実したカリキュラムを構築している。

1. 保健・医療・福祉チームの一員として必要な知識と協働する力を修得する科目を設置する。
2. 様々な生活の場における看護活動を体験できるよう幅広い実習の場を提供する。
3. 豊かな人間性と倫理観の育成につながる科目を設置する。
4. 国際的な視点から人々の生活と保健・医療・福祉について学ぶ科目を設置する。
5. 適切な臨床判断を行い、科学的根拠に裏付けされた看護が実践できる能力を修得するために、専門基礎科目・専門科目を設置し、これらの科目の講義・演習・実習を体系的、段階的に配置する。
6. 主体性を育み、コミュニケーション能力・問題解決能力・論理的思考・知識を活用する能力を修得するために多様な教育方法で教授する。

アドミッションポリシー

看護学科のディプロマポリシーに掲げた教育目的に望ましい医療人として活躍してもらうため、これら教育に共感できる人物像を求めている。

1. 看護師を目指す明確な意思を持ち、社会貢献したいと考える人
2. 基本的な生活習慣・健康管理が身についている人
3. 周囲の人々と円滑な人間関係を築ける人
4. 自己の課題を明確にし、積極的、主体的に学ぶ姿勢で努力を継続する人
5. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を有する人

柔道整復スポーツトレーナー学科（昼間部 3 年制）

ディプロマポリシー

柔道整復スポーツトレーナー学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、医療人としての倫理観と他者理解、知識と技術を兼ね備え業界において活躍できる人材を育成するため、以下の教育的目的を掲げている。

1. 日々進歩する医学的知識、スポーツトレーナーの知識を学ぶ心構えをもち、地域・業界の発展のために臨床家として貢献できる素養を身につけている。
2. 医療人としての自覚を持ち、保健・福祉従事者など他職種と積極的にコミュニケーションをとり、主体性をもち行動できる。
3. 選手や患者にわかりやすくて確かな指導ができるコミュニケーションやプレゼンテーション能力を身につけている。
4. 自分の職域以外にも興味を持ち、さまざまな分野とコラボレーションして新しい企画・運営ができる能力を身につけている。
5. 専門職者として、主体性を発揮し、自己成長し続ける基盤が身についている。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的達成のため、充実したカリキュラムを構築している。

1. 知識・技術を習得に合わせ、基礎から専門、応用へ段階的に資格を取得し、最終的に国家試験合格を目指す。
2. 豊富な現場実習により臨床力技術を構築し、またプロの職業人としての身構え・気構え・心構えを育む。
3. 柔道整復師の知識や技能のみならずスポーツ系の知識や技能と資格を修得できる。
4. 研究発表を通じて自ら調べ、考える力を身につける。
5. 海外研修によりグローバルな視点と人体構造知識の修得と医療人としての心構えと倫理観を育む。

アドミッションポリシー

柔道整復スポーツトレーナー学科のディプロマポリシーに掲げた教育目的に望ましい医療人・スポーツトレーナーとして活躍してもらうため、これら教育に共感できる人物像を求めている。

1. 挨拶を基本とし、素直に人としてコミュニケーションをとることが出来る人。
2. 自らを過信せず、さまざまなことに興味・関心を示しチャレンジが出来る人。
3. 将来の夢や目標を明確に持ち、達成のため主体的に努力が出来る人。
4. 規則正しい生活習慣を軸にして、自分から健康に対して考え、取り組むことが出来る人。
5. 健康スポーツ領域で地域社会に積極的に活動できる人。

介護福祉学科（昼間部 2 年制）

ディプロマポリシー

介護福祉学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、これからの福祉業界を担う職業人として貢献できる福祉人材を育成するため、以下の教育的目的を掲げている。

1. 利用者の立場になって物事を考え、尊厳・自立支援を支えるケアの実践ができる。
2. 介護福祉における幅広い必要な知識・技術を養い、社会で活躍することができる。
3. 幅広い対象者に応じたコミュニケーションやプレゼンテーションを実践することができる。
4. 保健・医療従事者など他職種とチームとして協調して連携し、問題解決することができる。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的達成のため、充実したカリキュラムを構築している。

1. 福祉従事者として基本的なマナー（文章能力・接遇・立ち居・振る舞いなど）を習得できる。
2. 誰からも信頼される人間性を身につけ、他者に共感し相手の立場になって考え行動できるようになる。
3. 地域活動や学校行事を通じて、円滑なコミュニケーションの図り方の基本を学び、チームワークを大切にし協調性を身につけることができる。
4. 医療的な側面から介護を学ぶことにより、利用者の安心・安全な生活を理解することができる。

アドミッションポリシー

介護福祉学科のディプロマポリシーに掲げた教育目的に望ましい福祉従事者として活躍してもらうため、これら教育に共感できる人物像を求めている。

1. 介護や福祉に強い関心を持ちその分野において、地域に貢献したいという意欲を持っている。
2. 人に興味・関心を持ち、人と関わるのが好きで仲間を大切にできる。
3. 身体を動かすことが好きで、自己管理がしっかりでき、健康的に過ごせる。
4. 明るく前向きで苦手な分野にも挑戦し、何事にもコツコツと取り組み努力することができる。